

## ■ 旧約時代の贖罪

イスラエルの民は、罪の赦しを受けるためにいけにえの動物を連れて祭司のところに来なければなりません。罪のある人が動物の頭に手を置き、自分の罪を動物に負わせるためです。祭司はその動物をほふって神様にささげ、民は罪の赦しを得られたのです。

## ■ メッセージのポイント

### (1) 予言の成就

十字架の上で次の予言が成就しました。

- ・詩篇 69:21 彼らは私の食べ物代わりに毒を与え 私が渴いたときには酢を飲ませました。
- ・詩篇 34:20 主は彼の骨をことごとく守り その一つさえ折られることはない。
- ・ゼカリヤ書 12:10 わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。

彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。

### (2) 救いの成就

旧約時代の祭司といけにえは、神様が約束したメシア - イエス様を示すものでした。

イエス様がこの世に来られた究極の目的は、完全な大祭司・完全ないけにえとなって人々を救うことです。それは十字架の上でご自分の体を神にささげ、永遠の贖いを成し遂げることでした。